

## 経済センサス企画会議（第7回）の結果概要

- 1 日時 平成20年2月29日（金） 10:00～11:45
- 2 場所 独立行政法人統計センター3階 第一会議室
- 3 出席者 清水座長、大戸委員、廣松委員、舟岡委員  
内閣府、総務省（統計局）、文部科学省代、厚生労働省代、経済産業省代、国土交通省代、日本銀行代、東京都、大阪府

### 4 議題

- (1) 経済センサスの名称について
- (2) 平成21年経済センサス第2次試験調査について
- (3) 平成23年調査実施計画WGにおける検討結果の報告について
- (4) 母集団情報整備WGにおける検討結果の報告について
- (5) その他

### 5 結果概要

#### (1) 議題1：経済センサスの名称について

事務局から、経済センサスの調査名（案）を提出。調査客体にとって分かりやすい調査名称という観点などから議論し、以下のとおり、経済センサス企画会議としての考えを取りまとめた。

##### [調査名称]

- ・平成21年調査：「経済センサス-基礎調査」
- ・平成23年調査：「経済センサス-活動調査」

##### [主な意見]

- ・昨年実施された試験調査においても、調査客体から「センサス」という名称は分からないといった声があるなど、21年の本調査に向け、十分な周知広報が必要。
- ・具体的な広報においては、「平成21年経済センサス」や二段書き表記など、多様な表現が考えられるので、調査名称の表記はある程度の自由度を持たせることも必要。
- ・今後、統計名称についても、調査と統計の関係の観点から検討するべきではないか。

#### (2) 議題2：平成21年経済センサス第2次試験調査について

総務省統計局から、「平成21年経済センサス第2次試験調査の実施計画（案）」を提出。議論を踏まえ、計画案に所要の修正を加えることで了承された。

##### [主な意見]

（調査票「事業所の事業の種類・業態」欄について）

- ・事業の種類の前プリントに平成18年事業所・企業統計調査結果を活用するが、平成20年4月から新産業分類が適用されることにより、産業分類の基準が変更になる旨を調査客体へ注意喚起することが必要、かつ、基準変更による産業分類の変動状況も検証すべき。
- ・「主な事業の内容」欄の説明文「その事業に従事・・・」の表現は、「過去1年間の従事者数」とするなど、主産業を的確に把握できるよう工夫するべきではないか。
- ・「主な事業の内容」の例示については、新産業分類において取り入れた「管理事務を行う本社」についても記述し、23年調査に向けて本社を的確に捉えることが重要ではないか。

#### (3) 議題3：平成23年調査実施計画WGにおける検討結果の報告について

事務局からWGにおける検討状況を報告し、廣松WG座長から説明がなされた。

#### (4) 議題4：母集団情報整備WGにおける検討結果の報告について

事務局からWGにおける検討状況を報告し、大戸WG座長から説明がなされた。

次回(第8回)企画会議は、3月28日（金）に開催予定。

（文責…総務省政策統括官（統計基準担当）付統計審査官室）